

授業科目 精神保健学

【 担当教員名 】		対象学年	2	対象学科	社会
渡 邊 良 弘		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	4	時間数	60
【 概要 ・ 一般目標 : GIO 】					
社会と身体、精神をあわせた視点から精神保健の基礎を知ることにより、人の一生における精神保健の課題、パーソナリティ形成と学校・職場・家庭における適応の問題、地域社会と精神保健の相互関係について、臨床につながる常識的判断と関連づけることができる。					
【 学習目標 ・ 行動目標 : SBO 】					
1. 精神保健とは何か、あらましと意義を知る					
2. ライフサイクルと精神保健についての認識を得る					
3. 家庭・学校・職場・地域社会における精神保健問題について知る					
4. 精神保健の施策と法について学ぶ					
5. 諸外国の精神保健とわが国の精神保健を比較することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健とは何か	精神保健の概要 歴史的社会的背景		1	講義
2	〃	精神保健の意義と課題 アプローチ		1	講義
3	人と環境と精神保健	人間生態学とは		1	講義
4	〃	人間生態学と精神の健康、環境		1	講義
5	人間の一生と精神保健（1）	ライフサイクルと精神保健		2	講義
6	〃	胎児期、乳児期における精神保健		2	講義
7	人間の一生と精神保健（2）	幼児期における精神保健		2	講義
8	〃	児童期における精神保健		2	講義
9	人間の一生と精神保健（3）	思春期・青年期における精神保健		2	講義
10	〃	成年期における精神保健		2	講義
11	人間の一生と精神保健（4）	老人期における精神保健		2	講義
12	〃	人生の完結と精神保健		2	講義
13	生活の場所と精神保健	家庭・学校における精神保健		3	講義
14	〃	職場・地域における精神保健		3	講義
15	精神保健問題の診断（1）	精神障害の分類		3	講義
16	〃	精神保健問題のアセスメント		3	講義
17	精神保健問題の診断（2）	社会病理現象 家庭崩壊 不登校		3	講義
18	〃	社会病理現象 アルコール 薬物乱用		3	講義
19	精神保健問題へのアプローチ（1）	精神障害者へのアプローチ		3	講義
20	〃	認知症へのアプローチ		3	講義
21	精神保健問題へのアプローチ（2）	薬物、子どもと家庭の精神保健へのアプローチ		3	講義
22	〃	思春期精神保健へのアプローチ		3	講義
23	精神保健問題へのアプローチ（3）	地域精神保健対策		3	講義
24	〃	ターミナルケアと精神保健		3	講義
25	家族と地域における精神保健施策	精神保健施策とは わが国の精神保健施策		4	講義
26	〃	精神保健関連法規		4	講義
27	世界における精神保健サービス	世界とわが国、先進国と開発途上国		5	講義
28	〃	世界的な精神保健課題 サービス向上のために		5	講義
29	わが国の精神保健の現状と課題	精神保健の潮流・現代社会と精神保健		5	講義
30	まとめ				
【 使用図書 】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床に必要な精神保健学	松久保章（編）	弘文堂	2,700円＋税
		精神保健学	日本精神保健福祉士 養成校協会編	中央法規出版	2,625円＋税
その他の資料					
【 評価方法 】		【 履修上の留意点 】			
出席状況、前期試験による		出席状況は出席・教科書音読・授業中の質問意見から構成される。 著しい私語など授業の妨げや迷惑行為はそ都度注意する。			